

出前美術館

講師謝礼や派遣旅費等
一切かかりません！

● 出前美術館とは

出前美術館は、県内に在住する美術の作家や美術館学芸員が学校に出向き、制作の指導や鑑賞授業を行うプログラムです。子どもたちは、作家とともに作品を制作することで「つくりだす」という基本的な美術の楽しさを味わいます。作家からは、作品に込めた思いや表現の工夫、なぜ作家を目指したのかなど、さまざまなお話を聞くことができます。作家とのコミュニケーションは、普段の美術の授業では得られない貴重な経験になります。鑑賞授業では、新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけます。

出前美術館のポイント

1. 普段の授業に生かせる実践的な授業。
2. 作家とのふれあい、本物の作品との出会い。
3. 2時限で完結。

● 授業までの流れ

- ①申込み...同封の申込用紙にご記入の上、FAX、メール、連絡便等でお申込みください。
- ②決定.....館内で選考を行い、決定通知をお送りします。※申込み多数の場合は抽選となります。
- ③打合せ...担当教員、講師、美術館職員で事前打合せを行います。
教員の方々のご要望、クラスの現状等を確認し、授業目標を設定します。
※内容によって、お電話やメールでの打合せとさせていただきます。
- ④計画.....事前打合わせの内容を踏まえ、美術館職員が授業計画書をお送りします。
- ⑤授業.....講師、美術館職員が貴校・園にうかがい授業を行います。
※講師謝礼は美術館が負担します。
- ⑥報告.....フィードバックとして、簡単なアンケートにお答えください。

● 申込み

実施期間：2019年6月～2020年2月

※開催日及び講師については相談、調整させていただく場合があります。

※期間外の日程をご希望の場合はご相談ください。

申込期間：2019年5月17日（金）締切

決定通知：2019年5月24日（金）頃

申込方法：別紙の申込用紙にご記入のうえ、FAX、メール、連絡便にて新潟市新津美術館までお申込みください。

※講師への謝礼、交通費等は美術館で負担します。

※ワークショップなどの材料、用具などは、学校でご用意いただく場合があります。

- 授業の展開例 ※講師は変更の可能性があります。

プログラム 1. 簡単マンガ教室【6月～8月】

新潟市マンガ・アニメ情報館の近藤康宏先生から、キャラクターの顔や全身、手足、ポーズなどデッサンの方法を教わります。普段の図画工作、美術の授業に役立つコツも多く、後半の質疑応答では、「マンガ家になるには？」や「女の子はどう描くの？」など、毎回多くの質問やリクエストが飛び交います。



〈講師プロフィール〉

近藤 康宏

新潟市出身。日本マンガ・アニメ専門学校卒業。
新潟市マンガ・アニメ情報館の職員として、展示会の運営に携わるとともに、新潟市内の小・中学校で、マンガデッサンの講座を開催している。

●授業例 (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
先生のお話、作品の鑑賞	15分
マンガデッサン（顔の描き方）	35分
休憩	10分
マンガデッサン（身体の描き方）	35分
質疑応答	15分
終わりのあいさつ	5分

●学校で用意していただくもの

鉛筆、消しゴム、A4コピー用紙など

実施校の感想「近藤先生の作品を間近に見せていただき、子ども達の目が輝いていたのが印象的でした」

プログラム 2. 粘土型で作る小さな石膏像【9月～11月】

造形作家、本間公司さんと一緒に、動物などをモチーフにした小さな石膏像を制作します。粘土型を使った石膏の流し込みによる制作は、複雑な工程がなく、短時間で作品を完成させることが可能です。授業で取り上げることの少ない石膏との出会いは、子どもたちにとっても大きな刺激となります。作品鑑賞の時間では、実際に手を触れることで石膏の質感を実感したり、制作過程についてお話を聞いたり、立体作品の多様な表現に親しむことができます。



〈講師プロフィール〉

本間 公司

佐渡市出身。新潟大学教育学部卒業。1980年から81年まで国立ローマ美術学院（イタリア）に留学。愛知県立芸術大学大学院彫刻科修了。県展や芸展を中心に活躍。2013年、新潟市北区郷土博物館で個展開催。

●授業例 (120分の場合)

はじめのあいさつ	5分
粘土型の制作	60分
石膏の流し込みと講師の作品鑑賞	40分
成形（削り作業）	10分
終わりのあいさつ	5分

●学校で用意していただくもの

鉛筆、A4の紙

※水道設備のある美術室が必要です。

実施校の感想「普段さわることの少ない石こうに触れることができ、とてもよかったです」（黒崎南小）

プログラム 3. アートカードを使った鑑賞教育授業 【12月～2月】

新津美術館の所蔵品を元に制作したアートカードを使用し「見る・考える・話す・聞く」といった鑑賞のための基本的な力を身につけます。また、学校・園内の美術作品をカードに加えることで、実物の作品との印象の違いについて話し合うなど、発展的な授業を行うことも可能です。

●授業案（ほんの一例です。学年、人数、ご希望に合わせて、その都度ご提案します）

・探偵ゲーム

親役が選んだ任意の一枚について、その特徴や印象について質問することで、どの作品か当てる。

・カルタの読み札作り

アートカードを絵札とし、作品の特徴や印象を「五・七・五」で表した読み札を制作する。

・展覧会作り

グループごとに展覧会のテーマを決め、テーマに見合った5、6枚のカードを使い、疑似展覧会を開催する。作品解説会（発表）を行い、全員で鑑賞する。



●授業例（120分の場合）

はじめのあいさつ	10分
アートカードの紹介と カルタの読み札当てゲーム	25分
読み札作り	20分
展覧会作り	40分
展覧会の発表、解説	15分
授業の振り返り、終わりのあいさつ	10分

●学校で用意していただくもの

筆記用具、方眼紙など

実施校の感想「絵画作品に触れることの少ない児童に絵画の鑑賞のポイントを示してもらえた。子どもが自分でテーマを考え、絵画を分類してその理由を人に伝えることができた。」（大鷲小）

【各プログラムのお問い合わせ】

新潟市新津美術館 担当 山岸、斎藤、栗原

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1 TEL : 0250-25-1300 FAX : 0250-25-1303

MAIL : museum.ni@city.niigata.lg.jp HP : <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>